

提携米通信

2021年正月号・黒瀬農舎

2021

迎春 本年もご支援宜しくお願い致します。



黒瀬農舎

新年おめでとうございます。

コロナで暮らし難い日々が続いておりますが、ご健勝で新年をお迎え下さったことと存じます。

ほとんどの皆さんが、この新春で祈ることは、コロナの早期終息だと思いますが、まだまだ予断は許せないようです。

どうぞ日々お気をつけてお過ごしください。

ところで、近年は暖冬異変と呼ばれて、我が雪国・秋田にほとんど雪が降りませんでした。

ところが、この冬は、12月中頃から、急に寒くなり、秋田県の南部「雪祭りのかまくら」

で有名な横手地方は、記録的な大雪となりました。

我が農舎の近辺は、沿岸部ですので12月の積雪は「薄化粧」程度でしたが、日中も0℃以下の日が続く時もある、道路はツルツルのアイスバーン。

仕事上でも、また買い物など日常生活の上でも、少々動き難いですが、雪国で生き、また、天候など自然に直接左右される仕事に携わっている者の「性」でしょうか、この数年の「暖冬・雪なし」よりも「寒い冬」の方が何だかホッとする気持ちになります。

昨年は、凄まじい酷暑など異常気象の中だということに、当地のどの農家も、どうしたことか「豊作」となり、我が農舎でも、近隣の一般栽培の農家に比べれば少ないものの、近年にない豊作でした。

また、外食向けに出荷している米農家は、コロナの影響によって売れ難い状況が続きましたが、個人消費者向けの産直をしている生産者はどこも「好調」と言っています。

我が農舎も、皆さんのご支援のお陰で、すこぶる順調に歩ませて頂いており、新年に当たりあらためてお礼を申し上げる次第です。

提携米 黒瀬農舎

〒010-0445

秋田県南秋田郡大湯村西1丁目4の7

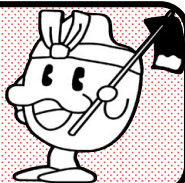
黒瀬 正・友基

TEL: 0185-45-3088 FAX: 45-2887

E-mail: akita@kurose.com Web:

提携米 黒瀬農舎

検索



★定期購入の場合も、変更や前倒しの出荷、休止はいつでも対応いたします。
★変更や休止は次のお米のお届けの5日ほど前までにご連絡下さい。
★お米のご贈答利用も宜しくお願致します。

★電話は土日祝日も含めて朝8時～夜8時頃まで対応致します（自宅兼事務所）。但し、電話受付の専任スタッフはいないため田圃や倉庫作業、外出の時は留守番電話対応となります。ご了承願致します。

また、メールもぜひご利用下さい。なおメールは原則すべて返信していますので、返信メールが届かない際は自動的に迷惑メールとなっている可能性があります。迷惑メールやメールの設定をご確認下さい。

新しい年にあたっての雑感

私たちの県から初の総理が誕生した菅政権も3ヶ月余りが経ちました。

最近の支持率は、コロナへの対応を始め幾つかの問題でだいぶ落ちたとの報道です。

その中の一つ「桜を観る会」問題では「安倍前総理の任意取調べを行い、年内に不起訴」とマスコミは報じていました。

私は、桜問題は、政策論争に値するほどの大きな問題だとは思いませんが、出席支持者に提供した食事代の一部を負担したことは、政治資金規正法や公選法上、間違いなく違法行為です。

微罪だから「起訴猶予」とするのならば理解できるのですが、これを「不起訴」とは理解に苦しみます。不起訴ならば「嫌疑なしの不起訴」なのか「証拠不十分」なのか・・・いずれも納得できるものではありません。

森友学園問題の際に、人事権を武器にした政権の圧力によって信頼が失落したことを反省した検察は、河井元法相問題で起死回生を図っているように感じ、すこし安心しましたが、今回の「不起訴」が本当ならば、やっぱり信用できない気持ちになります。

検察官も、また、他のどんな職業の方も、良心に従った仕事を通して社会貢献できることが喜びであり、生きがいだと思いますが、この例が示すように、人事権は、政でも官でも、また、民間社会においても、組織に属す人々の良心を歪めさせる恐ろしいものだと感じます。

天候に振り舞わされるなど苦しいことが他に沢山あっても、仕事の上で良心を歪めたり、抑えたりする必要のない私たち百姓の仕事は、本当に幸せだと感謝する気持ちになります。

ところで、人口減少などの影響で経済成長が鈍化し、ほとんどの産業が不景気になり、価格の安いものしか売れない傾向が強まり、最近の農政はコスト低減を求めています。

お米など耕種農業の場合のコスト低減＝低価格で農産物を生産することに一番有効な方法は、農業と化学肥料を多投して、手間を掛けずに、単位面積当たりの収穫量を増やすことです。

お米栽培においては、最近、種を蒔く時に、幾種類もの農薬と一緒に撒けば、苗が農薬を吸収したり、田植えの時に、苗と一緒に株元に農薬が植え込まれ、夏の病害虫にも効く手間いらずで強力な薬剤が使われるようになってきています。

このことにより、収穫物に残留する農薬も当然増えますが、土壌や水、環境も汚染することになります。

でも、農家は安価なお米を作らなければ、経営が続けられないとして、省力・増収栽培に向かい農薬や化学肥料の多投に向かっているのが実情です。

我が農舎が、農薬や化学肥料を使わないで、お米作りが続けられているのは、これをご利用下さる消費者の方々のご支援のお陰です。

そのご支援にお応えし、一生懸命お米作りに励みますので、今年も宜しくお願い致します。

そしてコロナが治まれば、無料の宿泊空間・我が農舎のロッチをお訪ね下さい。



もち大麦 隣町の山の畑を借りて、もち大麦の栽培試験を始めました。ゴボウの数倍という水溶性繊維で善玉菌が増え、便通改善効果大。

糴、大豆など手作り味噌関係は、1月下旬以降のお米と一緒にお届けとなります。

★お餅は、冷蔵庫などに入れなくとも、常温保管で大丈夫です。未開封でカビなど出た場合は、袋に微細な穴が開いたなどの原因です。

★賞味期限内は、交換や返金しますのでご連絡お願いします。